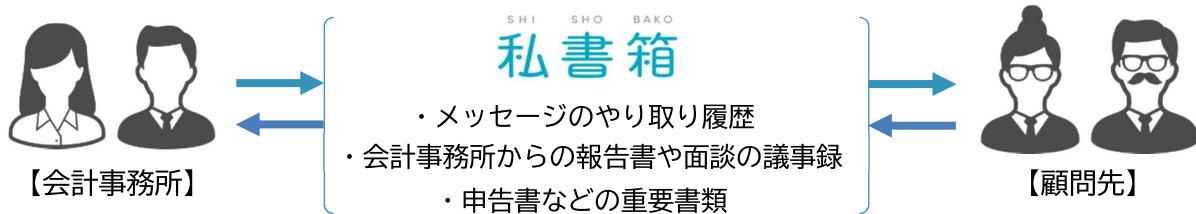


■ 会計事務所の皆さまへ「私書箱」活用のお勧め（1）

●●● 顧問先とのやり取りは全て「私書箱」に蓄積されていく

会計事務所と顧問先を結ぶWebコミュニケーションツールです。事務所担当者と顧問先とのやり取りなどがすべて記録されていき、それらを事務所全体で共有できる仕組みです。



ポイント

- ・ 顧問先の情報は、事務所の全員が見られる形で保存される
- ・ お客様ごとに、時系列で情報が保存される
- ・ PB システムをご利用でない顧問先にもお使いいただける

●●● 「私書箱」導入のねらいとは

様々な効果を期待し、ご導入・活用される会計事務所が増えています。会計事務所はどのようなお考えで「私書箱」をご導入されているのでしょうか。



税理士法人（関西地方/
職員数 9 名）の所長

「メールに偏ったやり取りから脱却したい」

顧問先とのやり取りをメールでされてしまうと、所長からはその内容が見えない。私書箱で行うことでやり取りを「見える化」し、顧問先に喜ばれた対応などを所長が把握して、職員の評価に繋がられるようにしたい。



税理士法人（関東地方/
職員数 30 名）の所長

「業務のデジタル化／ペーパーレス化を進めたい」

「訪問回数を減らす」「原始資料はデータで回収」といった業務体制を構築していきたい。そのために顧問先・事務所双方で業務のデジタル化が必要と思う。「私書箱」を活用したペーパーレス化を、そのきっかけとしたい。

※この他にも「私書箱」活用で得られる効果が多数あります。次回 FAX 通信では、「私書箱」の各メニューにスポットを当て、活用方法などをお伝えします。